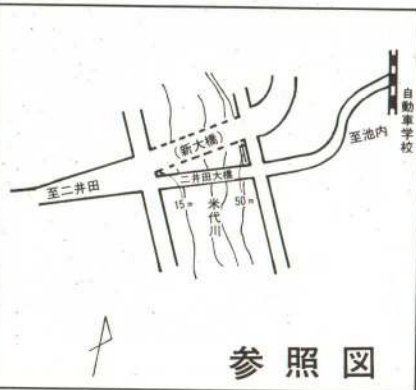
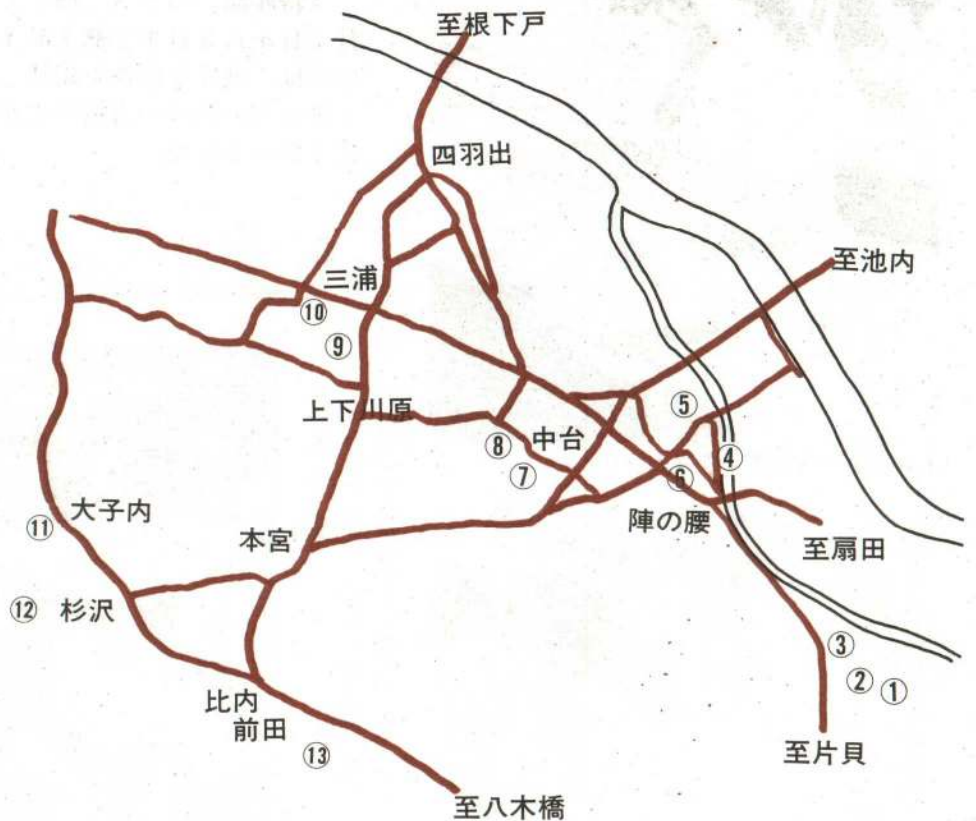


ミニガイド

- ①達子森スキー場
- ②大館工業団地
昭和49年に造成され現在5社が操業、約700人が就業しています。
- ③二井田市民集会所(建設中)
10月9日から建設工事が始まり、63年3月に完成する予定です。
- ④安藤昌益石碑
江戸時代中期、大館が生んだ哲学者安藤昌益の碑が再建されています。
- ⑤温泉寺
安藤昌益の墓があります。
- ⑥二井田公民館
- ⑦二井田運動場
- ⑧二井田野球場
- ⑨南小学校
昭和51年、杉沢小学校、真中小学校、二井田小学校を統合して開校しました。
- ⑩南中学校
- ⑪忠犬ハチ公生誕の地
ハチ公は大正12年、大子内の齋藤七郎右エ門家で生まれました。
- ⑫大子内射撃場
- ⑬市民の森
昭和48年10月にオープン。市の中心部から車で約20分の距離にあり、市民の憩いの場となっています。

マイタウンガイド

～ 二井田地区編 ～



参照図

二井田大橋が
生まれかわります

二井田大橋は、昭和三十三年に開通されて以来、今日まで二井田地区と上川沿・大館地区とを結ぶ橋として長年多くの市民に利用されてきました。しかし、現在では橋脚はもとより橋全体が老朽化し、橋を通行する車両は重量が制限されているような状態です。

市では、総合開発計画後期五カ年計画(昭和六十一年度～六十五年)の中で、この橋の架け替え工事を計画年度内に完工、永久橋化することを目標とし、六十一年度から事業に着手しています。

市道池内二井田線(池内萱野地区(二井田上阿久津地区間)にかかるとの工事は、延長一〇〇m、幅員一〇m(二車線片側歩道)、総事業費九億円を見込んで進められており、六十一年度にはおよそ三千万円の事業費により、橋梁実施設計、ボーリング測量調査、一部用地買収がす



▲架け替えられる二井田大橋

新しく架けられる二井田大橋は、現在の橋から二井田側で一五m、池内側で五〇m下流(図参照)に造られることになり、米代川に対してやや斜めに架かることとなります。これは、現在第一期工事が進められている大館南バイパス(山館・片山線)と、第二期工事で接続されるためです。

二井田・上川沿という市の穀倉地帯を結ぶ二井田大橋。将来国道七号線・一〇三号線バイパスの一部としての道路輸送はもとより、地場産業の発展、生活圏の拡大等、広い視野からも期待されています。

◇11月は、国民健康保険税(第3期)の納期です。
一税金は納期内に納めましょう一